

授業科目	教育心理学				単位	2				
履 修	選択	関連資格	高一種免(看護) 養教一種免			ナンバリング	NU24103J			
開講年次	2年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2					
担当教員	中島 俊介									
授業概要	教育心理学は、大学で学ぶ教職科目のうちもっとも重要な科目の一つである。児童・生徒の教育にあたって、子どもや保護者や同僚の「心理」ととらえなければ、その責任と使命は全うすることはできない。この授業では、教育に関わるテーマを心理学的側面からアプローチし、解説する。具体的には、教育心理学の歴史と研究方法、学習メカニズム(記憶、知識と問題解決、学習、人間の発達、知的発達、発達障害)、学習活動にかかわる要因(原因帰属、動機づけ)、人間関係(学級という社会、人格発達、カウンセリング)、指導と評価(学習指導、教育評価)を取り上げる。									
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習のメカニズム(どのように人は発達して、学習し、考え、記憶するのか)の過程を説明できる</li> <li>2. 学習活動にかかわる原因帰属や動機づけのタイプを説明できる</li> <li>3. 児童・生徒との関わり方のタイプや人格発達の過程を説明できる</li> <li>4. 授業形態や評価法を説明できる</li> </ol>									
達成度評価										
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考		
総合評価割合	60	30	10	0	0	0	100			
知識・理解 (DP1-1)	40	20	10				70			
知識・理解 (DP1-2)	20	10					30			
知識・理解 (DP1-3)										
知識・理解 (DP1-4)										
思考・判断 (DP2-1)										
思考・判断 (DP2-2)										
関心・意欲 (DP3-1)										
関心・意欲 (DP3-2)										
態度 (DP4-1)										
態度 (DP4-2)										
態度 (DP4-3)										
技能・表現 (DP5-1)										
技能・表現 (DP5-2)										
技能・表現 (DP5-3)										
具体的な達成の目安										
理想的レベル					標準的なレベル					
教育心理学の基礎的な知識と応用についてよく理解し、現実の教育場面の様々な課題を考える、実行することができる。教育実践の問題や文献の内容について説明し、他者に正確に伝えることができる。					教育心理学の基本的な知識を身につけ、それを人に説明することができる。文献や教育のことについて、人に説明することができる。					
授業計画										
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)			予習・復習時間(分)		

1	テーマ:オリエンテーション 心理学とは／教育心理学で学ぶこと	講義 自己紹介シート	予習;テキストの前書きの予習 復習;該当部分の復習	60
2	テーマ:発達1 発達とは何か, その理論と原理	講義	予習;該当部分の予習 復習;該当部分の復習	60
3	テーマ:発達2 発達課題とその特徴	講義	予習;該当部分の予習 復習;該当部分の復習	60
4	テーマ:学習 学習方法と行動の習得	講義 小テスト	予習;該当部分の予習 復習;該当部分の復習	60
5	テーマ:教授—学習過程 授業の分析と教授法	講義	予習;該当部分の予習 復習;該当部分の復習	60
6	テーマ:人格と適応1 児童・生徒の人格の理解	講義	予習;該当部分の予習 復習;該当部分の復習	60
7	テーマ:人格と適応2 適応と不適応, その指導	講義 小テスト	予習;該当部分の予習 復習;該当部分の復習	60
8	テーマ:知能 知能の意味とその構造	講義	予習;該当部分の予習 復習;該当部分の復習	60
9	テーマ:学級集団1 クラスにおける人間関係	講義 ミニレポート	予習;該当部分の予習 復習;該当部分の復習	60
10	テーマ:学級集団2 教師のリーダーシップと集団理解	講義	予習;該当部分の予習 復習;該当部分の復習	60
11	テーマ:障がいのある子どもの理解と指導 ハンディーのある子どもの理解と支援	講義	予習;該当部分の予習 復習;該当部分の復習	60
12	テーマ:発達障害 様々な発達障害とその特徴	講義	予習;該当部分の予習 復習;該当部分の復習	60
13	テーマ:教育評価 教育評価の目的と方法	講義 小テスト	予習;該当部分の予習 復習;該当部分の復習	60
14	テーマ:カウンセリング 教師の立場から生徒を支える	講義	予習;該当部分の予習 復習;該当部分の復習	60
15	テーマ:まとめ これまでの授業についてまとめ, 補足する	講義 振り返り小テスト	予習;該当部分の予習 復習;該当部分の復習	60
16				
17				
18				
19				
20				

21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	教壇に立たなくても、日常生活で「人に教えたり、示唆したりすること」はある。教育の営みは身近にある。普段から教育に関する心理学的な視点から考える習慣を身につけてもらいたい。			
テキスト	『ガイドライン学校教育心理学』 大野木裕明 他著 2016年 ナカニシヤ出版			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	『こころの旅』 神谷美恵子 みすず書房			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	より良い社会の建設は教育の成否にかかっています。理想の社会を形成する一翼を担うための、学習であるとの熱意ある授業態度で講義に参加していただきたい。良き教師を目指す第一の課題は「良き学生たれ」だと思います。大きな志を抱いて、授業に臨んでください。			
達成度評価に関するコメント	講義各時間の内容理解度を知りたいので素直な感想を毎時間、自主的に教師に伝えて欲しい。その方法については授業中に案内説明する。			